

- ◆企画名 グローバル体験 in 淡路島
日 程 平成 26 年 6 月 21 日 (土) ~6 月 22 日 (日)
場 所 淡路島および周辺施設
参加者数 39 名 (ピア・サポータ 3 名、研修生 3 名、一般学生 33 名)
目 的

淡路島という大自然の中で普段では体験できないアクティビティを通して、留学生と日本人学生の交流を図る。

内 容

- ・淡路花さじきという花畑でのアイスブレイク
- ・淡路島牧場での牛の乳搾り体験とバター作り体験
- ・国立淡路青少年交流の家での野外炊飯活動
- ・カッター体験を予定していたが雨天により中止→卓球大会

効 果

- ・グループ活動を通して連帯感、責任感を得ることができた。
- ・複数のアクティビティの中でいろんな人と交流を促進できた。
- ・自然の中での活動を行ったことがない人がほとんどで自然への良い意識が持てた。
- ・集団行動するのに当たり前のことを確立できた (時間を守る、他人への思いやり)。
- ・国立の宿舎に泊まったので、いろんなルールに従いながら行動できた。

改 善 点

- ・企画を進めることに集中しすぎ、交流促進があまりできていなかった。
- ・予算書のミスがあった。
- ・ほかのメンバーに比べてリーダーの負担が大きすぎた。
- ・情報共有の不足。
- ・KUブリッジとしての荷物の確認不足。
- ・施設の使い方がよくなかった、周りの人に迷惑をかけることがあった。
- ・夜中に宿舎の部屋の中で喋っていて注意を受けてしまった。
- ・雨天時のことについてもっと考えておくべきだった。



感 想

- ・参加者のほとんどが時間をしっかり守り行動してくれ運営がしやすかった。
- ・参加者の人達が自分から行動してくれたことで助けられた部分も多かった。
- ・「すごく楽しかった！」という声を聞くことができた。
- ・淡路島の自然は本当に気持ちがよく、学生みんな癒されたと思う。

一泊二日という短い時間の中であつたが、さまざまな体験を通して楽しみながら参加者同士が交流を図ることができていた。参加者にとっては大学でのよい思い出になったと思う。また、KUブリッジメンバーもイベント企画を通して成長できた。